

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会  
令和6年度 第1回理事会 議事録

開催日：令和6年5月13日(月) 13時～15時

場 所：Zoomによるオンライン

理事数：20名(理事定数10名以上20名以内、定款第11条)

構成員数：理事20名、監事2名

出席者数：理事19名、監事2名

出席理事：坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、中前雅美、市野直浩、小野川 傑、三浦昌人、吉田祥子、井口文子、大瀧博文、松林こずえ、野島順三、石井直仁、關谷暁子、多田達史、山口 聡、勝田 仁、高崎昭彦、富山智香子  
委任状：松田洋和

出席監事：伊藤昭三、上原昭浩

オンラインゆえ、参加者全員への音声確認、意思疎通が行えることを確認後の13時から開始。

報告事項

1) 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会の準備状況 報告:富山理事

会 期 : 令和6年8月23日(金)～8月24日(木)

会 場 : 新潟大学医学部保健学科

〒951-8518 新潟県新潟市中央区旭町通2番町746番地

大会長 池主 雅臣 新潟大学

副大会長 廣畑 聡 岡山大学

実行委員長 佐藤 拓一 新潟大学

副実行委員長 齋藤 修 新潟大学

事務局長 富山 智香子 新潟大学

協議会事務局 小野川 傑 日本臨床検査学教育協議会(常務理事)

共 催 : 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

後 援 : 文部科学省・厚生労働省・一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会・一般社団法人 新潟県臨床検査技師会

演題募集登録期間：令和6年4月10日(水)～5月31日(金)

大会HP : <https://jamtel8.secand.net/endai.html>

学会テーマ 「多様化する医療現場を見据えた知技の学び」

プログラム概要1日目 8月23日(金) 新潟大学

開会式 開会挨拶 理事長 坂本秀生

10:40-11:40 基調講演：頼りになる臨床検査技師を育てる卒前・卒後教育(仮)

12:30-13:30 ランチョンセミナー

13:40-15:10 シンポジウム：大学院・卒後研修・リカレント教育について(仮)

13:30-16:20 一般演題(大学院生、学部)

15:20-16:50 シンポジウム：今後の多職種連携に向けた取り組み(仮)

17:00-18:00 科目別分科会

2日目 8月24日(土) 新潟大学

9:10-11:20 一般演題(教員、学部)

11:20-12:20 特別講演：生涯教育・医療現場教育について(仮)

- 12：30-13：20 ランチョンセミナー  
 13：30-15：00 シンポジウム：臨地実習前技能到達度評価実施の現状と今後(仮)  
 15：00-15：30 優秀演題表彰式  
 15：30-15：40 大会長挨拶  
 閉会式 閉会挨拶 理事長 坂本秀生  
     次期大会長挨拶 副大会長 廣畑 聡 (岡山大学)  
 \*適切な感染対策を講じますが、COVID-19 感染状況によっては Web 開催とします。

2) 臨地実習指導者講習会 報告:坂本理事長

修了実績			
実施年度	修了者数	在籍施設累計	修了者累計
令和3年度	498	498	498
令和4年度	559	922	1,057
令和5年度	597	1,189	1,654
令和6年度	60	1,195	1,714

令和6年度予定

- 4月21日 北日本支部  
 5月19日 中部圏支部  
 7月15日 関甲信支部  
 8月4日 中四国支部

3) 学生向け タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣が指定する研修会につき、坂本理事長より  
 令和6年4月末の状況として以下の報告

- 実技研修まで終了 40校  
 Web研修申込み 19校

4) タスク・シフト/シェアに関する動画作成 報告:坂本理事長

- ① 血液成分採血に関する教材用動画:  
 正会員校へダウンロードURLを送付済 ダウンロード期限:令和6年7月21日  
 ② MEP(運動誘発電位)・SEP(体性感覚誘発電位)に関する教材用動画  
 厚生労働省指定講習会の動画教材を作成頂いた方々に依頼し作成中。

5) 能登半島地震奨学金 報告:坂本理事長

正会員校を対象に学生の被災状況調査を行い、全壊3名、半壊2名の学生がいたことから、本会「奨学金規定(内規)」を元に東日本大震災・熊本地震同様に、奨学金委員会を設けた。

奨学金規定(内規)第一条に従い、理事長より三善英知副理事長、山藤賢副理事長、市野直浩副理事長、關谷暁子理事(北陸大学)、小野川傑事務局を委員として委嘱し、奨学金委員会を3回実施し、奨学金対象者および奨学金額を決定した。

日本臨床検査同学院より被災学生への奨学金として25万円の寄付を頂けることになり、本会から25万を支出し50万円を奨学金基金とし、以下の対象学生へ奨学金として本会事務局より指定口座へ振込を行った。

準半壊に至らない	¥50,000	1名	¥50,000
半壊 3名	¥150,000	3名	¥450,000
		合計	¥500,000

6) 各種委員会 報告:各委員会担当理事

国家試験対策委員会 報告:中前理事

1. 模擬試験進捗状況:問題作成者決定後の依頼確認、ならびに問題作成中。
2. 6月下旬に模擬試験受注案内 (R5年と同様)  
R5年度より受注受付を10部以上とする。但し新設の大学に於いてはその範囲ではない。  
既卒生も学校単位での受注受付とする。(個人単位の受注受付はしない。)
3. 模擬試験価格(昨年と同様):問題1セット(A,B) 本体1,800円+税180円 合計1,980円
4. 国家試験対策委員で担当分野を割り振り、問題を校正する

模擬試験作成今後の予定

- ～6/10(月):問題作成
- ～7/26(金):委員による校正完了
- ～9月下旬:印刷完了、発送

模擬試験発注などの予定

- 6月初めまで:模擬試験受注案内
- 6月下旬頃まで:受注についての各校からの回答
- 10月下旬ごろ:模擬試験代金支払い

【国家試験対策委員会】委員:10名 任期2年間 (R5.5～R7.5)

地区部会委員会 報告:松林理事

1. 令和6年度活動計画  
近畿中国四国部会総会・研修会 令和6年6月9日(日)オンライン(zoom)開催  
担当:天理大学

国際協力委員会 報告:石井理事

1. Learning Lab for Laboratory Medicineの翻訳確認協力  
ADLM、IFCC及びNew England Journal of Medicineが協力して作製した、臨床検査の適応型学習教材を英語から9ヶ国語へ翻訳するプロジェクトの日本語訳確認作業。国際協力委員会の委員を中心に本会からも協力を募り、18テーマへ会員校の先生方から協力を頂き、翻訳確認を進行中。

広報委員会 報告:關谷理事

1. 臨床検査技師啓発イベント等の告知ポスターのテンプレートのウェブサイト掲載  
開催母体、会場、日付、内容、QRコードなどを空白にしたイラスト入りのテンプレートが、本会ウェブサイトの会員校ページよりダウンロード可能であり、ご活用いただきたい。
2. ウェブサイトに掲載する情報の充実について  
臨床検査技師資格の取得後に、どのような活躍の場があるかを、高校生や養成校の学生向けに発信するページを設けたいと考えている。掲載する文章や写真等の提供を各校に依頼する際には、ご協力をお願いしたい。

編集委員会 報告:多田理事

1. 「臨床検査学教育」16巻1号(令和6年3月1日発刊:学会特集)  
総説1、原著1、学術集会における特別講演等の資料9件、学生優秀発表賞受賞演題6件、国際交流、編集後記
2. 「臨床検査教育」16巻2号(令和6年9月1日発刊予定)  
総説1、原著1、報告1、関連学会報告、教育機関紹介2件、書評、編集後記を予定

研修委員会 報告：山口理事

1. 令和6年度定時総会 教員研修内容および講師について  
内容：臨地実習前の個人情報保護に関する学生指導と養成校教員の留意事項について  
講師：弘前大学大学院保健学研究科/医学部保健学科 野坂大喜先生
2. アンケート調査報告  
令和6年3月4日から3月25日にかけてアンケート調査を実施した。  
(1) 回答状況 55  
(2) 教員研修会に参加しやすい時期について（複数回答）  
(3) 研修テーマに関心のある項目について（複数回答）  
(4) 研修委員会への意見・要望など
3. 令和6年度の活動計画について  
アンケート調査を踏まえ、テーマ選定、実施方法、時期などの検討を行う。

学会運営委員会 報告：勝田理事

1. 第18回日本臨床検査学教育学会学術大会  
大会長：池主 雅臣（新潟大学医学部保健学科検査技術科学専攻）  
期日：令和6年8月23日（金）～24日（土）
2. 第19回日本臨床検査学教育学会学術大会  
大会長：廣畑 聡（岡山大学医学部保健学科検査技術科学専攻）  
期日：令和7年8月21日（木）～22日（金）
3. 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会  
大会長：勝田 仁（九州大学大学院医学研究員保健学部門検査技術科学分野）  
期日：令和8年（予定）
4. 第21回日本臨床検査学教育学会学術大会  
開催校：北里大学医療衛生学部医療検査学科  
期日：令和9年（予定）

学術委員会 報告：高崎理事

1. 令和5年度活動報告  
令和5年度科目別分科会開催（令和5年8月23日 於：天理大学）。  
学術委員会を1回開催（第1回令和5年11月17日 オンライン）。
2. 「臨地実習前技能修得到達度評価」についての検討  
・各分科会での検討結果を第1回学術委員会にて情報共有した。
3. 令和6年度活動予定  
2回の学術委員会を予定（適宜）  
① 令和6年度学術委員会委員名簿作成  
② 令和6年度科目別分科会開催（令和6年8月23日 於：新潟大学）  
③ 令和6年度分科会会長・副会長名簿作成  
④ 「臨地実習前技能修得到達度評価」に関する項目、評価方法などの検討を継続する。
4. 令和5年度分科会会長・副会長(R6.8まで)について
5. 分科会名変更について  
(旧) (新)  
「臨床血液分科会」 ⇒ 「血液検査学分科会」

7) 医歯薬出版国試対策問題集 報告:坂本理事長

概要

書名: 臨床検査技師国家試験問題集 2025 年版

編集: 一般社団法人日本臨床検査学教育協議会

体裁: 2 色刷+1 色刷, カラー図版・第 70 回国家試験解説 96 頁 (カラー+1 色刷)

対象: 臨床検査技師国家試験受験者

定価: 8,800 円 (本体価格 8,000 円+税 10%)

発行日: 2024 年 6 月 10 日 (出来予定: 2024 年 5 月 22 日)

発行: 医歯薬出版株式会社

刷部数: 2,000 部

著作権使用料

本体価格×実売部数×10% (5%を日本臨床検査学協議会, 5%を執筆者 13 名で頁按分)

6) その他

なし

## 議案審議

### 第一号議案 令和5年度事業経過報告

令和5年度事業経過報告について小野川常務理事より、以下の説明があり、審議の結果、承認された。

文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議を行った。また、改正された臨床検査技師学校養成所指定規則に則り、日本臨床衛生検査技師会と合同で臨地実習指導者育成にむけた臨地実習指導者育成協議会の立ち上げ、ならびに実習指導者講習会の運用を開始した。さらに、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験問題検討委員会などの活動を通じて、臨床検査学の啓発と教育問題に関する調査研究を行った。

令和5年5月15日  
第1回理事会

令和5年5月29日  
第18回定時総会、第2回理事会：Zoom会議

令和5年6月12日  
第3回理事会：Zoom会議

令和5年8月23日  
日本臨床検査学教育学会評議員会：天理大学（奈良県）

令和5年12月5日  
第4回理事会：Zoom会議、

令和5年12月18日  
臨時総会・教育講演会：Zoom会議

令和6年1月25日  
第6回臨地実習指導者育成協議会：Zoom会議

（その他）

- ・会員校の加入開拓：日本文理大学保健医療学部保健医療学科（文科省指定校）、新潟薬科大学医療技術学部臨床検査学科、大分大学医学部 先進医療科学科の新規加入申し込みを受け付けた。
- ・学会会員登録：各加盟校教員により構成される学会会員登録を行った。
- ・ホームページ内容更新：
- ・教育用動画制作：タスクシフトに伴う行為のうち、血液成分採血について先行して動画制作が完了した。
- ・模擬試験制作にかかる経費の見直しを検討した。

第二号議案 令和5年度収支決算報告

令和5年度収支決算報告について小野川常務理事より以下の説明があり、審議の結果、承認された。

令和5年度 収 支 計 算 書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位 円)

勘 定 科 目	R5年度予算額	R5年度決算額	差 引	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	7,030,000	7,170,000	140,000	会員校101校、賛助会員1社
雑 収 入	1,500,000	1,472,546	-27,454	印税、看護協会Will手数料他
学術学会関連収入	4,800,000	5,070,200	270,200	参加費、寄付金、広告掲載料、学 会準備金返金分
模擬試験関連収入	7,722,000	7,516,050	-205,950	模擬試験問題冊子販売収入 3,796 部 (¥1,800+税 ¥180 = ¥1,980)
事業活動収支計	21,052,000	21,228,796	176,796	
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,038,718	14,096,764	58,046	
教育講演料	120,000	66,822	-53,178	学術大会、定時総会、地区部会セミ ナー講師謝礼及び交通費
教育普及活動	4,500,000	5,820,039	1,320,039	模擬試験問題作成費、印刷、配送 料 模試作成料、校正料、動画制作
臨地実習指導者講習	3,018,718	1,840,828	-1,177,890	臨地実習指導者講習会運営経費
学術大会開催	4,400,000	4,793,325	393,325	第17回学術大会開催
学会誌出版	2,000,000	1,575,750	-424,250	学会誌電子化編集費 3巻分(15巻 1号、15巻2号、16巻1号)
管理費支出	5,135,000	4,663,093	-471,907	
広告宣伝費	650,000	618,530	-31,470	Webサイト管理(月額) ¥44,000× 12 = ¥528,000、サーバー費用、ド メイン費用1年分 ¥60,610、ペー ジ名の変更に伴う各種修正 ¥22,000
印刷費	100,000	17,820	-82,180	協議会名入り封筒印刷
租 税 公 課	75,000	70,050	-4,950	法人登記変更費用
接 待 交 際 費	50,000	3,564	-46,436	慶弔費、手土産など
通 信 費	150,000	147,202	-2,798	協議会用携帯電話使用料、イン ターネット使用料、郵便切手、宅配
会 場 費	100,000	50,000	-50,000	令和5年度国試問題検討委員会施 設使用料他
消 耗 品 費	100,000	19,419	-80,581	文具類、コピー用インク、事務用器材等
行 事 費	230,000	242,061	12,061	各種委員会委員日当、理事長選挙 電子投票システム利用経費
旅 費 交 通 費	100,000	134,227	34,227	理事、委員の交通費・宿泊費
会 議 費	150,000	145,200	-4,800	Zoom年間契約料
頭 彰 費	210,000	83,245	-126,755	永年精励賞表彰状11名、送料
寄 付 金	0	0	0	
事務局運営管理費	2,600,000	2,567,975	-32,025	事務局人件費(アルバイト2名×12 か月)、事務局賃料等
雑 費	550,000	493,800	-56,200	税理士顧問料、振込手数料、ネット バンキング手数料
法 人 税 等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	19,173,718	18,759,857	-413,861	
事業活動収支差額	1,878,282	2,468,939	590,657	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
出 資 金 収 入	0		0	
受 取 利 息	185	433	248	
財務活動収入計	185	433	248	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0		0	
財務活動収支差額	185	433	248	
III. 予備費支出				
当期収支差額	1,878,467	2,469,372	590,905	
前期繰越金	27,567,298	27,567,298	0	
次期繰越金	29,445,765	30,036,670	590,905	

第三号議案 令和5年度監査報告

令和5年度の監査について伊藤監事より、以下の説明があり、審議の結果承認された。

## 監査報告

一般社団法人

日本臨床検査学教育協議会

理事長 坂本 秀生 殿

定款第3章第13条5および会計規程第6章36条の規定に基づき、  
令和5年度の会計帳簿および事業報告の内容を監査した結果、会計  
は正確に処理されており、また会務は適正に運営されていることを認  
めます。

令和6年5月10日

監事 伊藤 昭三 

監事 上原 昭浩 



#### 第四号議案 令和6年度事業計画案

令和6年度事業計画案につき小野川常務理事より以下の説明があり、審議の結果、承認された。

文部科学省、厚生労働省、日本臨床衛生検査技師会をはじめとする関連学術団体、臨床検査業関連との連絡・協議をする。会員校との意見交換や相談などに対応する。また、昨年度より運用が開始された日本臨床衛生検査技師会との合同事業である臨地実習指導者講習会の継続と、臨地実習指導者育成協議会に参画することでよりよい臨地実習の環境づくりを目指していく。さらに、臨床検査学の啓発とさらなる教育力向上を目指して、日本臨床検査学教育学会、編集委員会、研修委員会、学術委員会、国家試験対策検討委員会などの活動を通じて調査研究を行う。

令和6年5月13日 第1回理事会：Zoom会議

令和6年5月17日 第7回臨地実習指導者育成協議会：Zoom会議

令和6年5月27日 第19回定時総会：Zoom会議  
令和7-8年度役員選考委員会立ち上げ

令和6年8月5日：第2回理事会、学術理事会 13:00より：Zoom会議

令和6年8月23-24日：第18回日本臨床検査学教育学会学術大会（新潟大学）  
（23日 11:50-12:20 学術総会、学術評議員会）

令和6年11月下旬 令和7-8年度代表理事選挙

令和6年12月2日：第3回理事会：Zoom会議

令和6年12月16日：令和6年度臨時総会：Zoom会議

令和7年5月12日：第4回理事会：Zoom会議

（通年事業）

- ・機関誌「臨床検査学教育」発刊（編集委員会）
- ・加盟校学生向け国家試験模擬試験問題の作成（国家試験対策委員会）
- ・臨地実習指導者講習会の日本臨床衛生検査技師会との合同運営（臨地実習指導者講習会受講終了施設の情報管理などの新規事業を含む）

（その他）

- ・タスクシフトに伴う行為に関する教育用動画制作

第五号議案 令和6年度予算案

令和6年度予算案に関連し、小野川常務理事より模擬試験印刷会社の変更と変更に伴う模擬試験代金減額を審議し、続いて案1と案2について審議を行い、案1と共に令和6年度模擬試験代金は「本体1,600円+税160円 合計1,760円」とすることが承認された。

令和6年度 予算計算書(案1)

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位 円)

勘定科目	R5年度決算額	R6年度予算額	差引	備考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
一般会費収入	7,170,000	7,410,000	240,000	会員校103社、賛助会員2社
雑収入	1,472,546	1,750,000	277,454	印税、看護協会Wii手数料、日本臨床検査同学院義援金他
学術学会関連収入	5,070,200	4,800,000	-270,200	参加費、寄付金、広告掲載料、学会準備金返金分
模擬試験関連収入	7,516,050	6,688,000	-828,050	模擬試験問題冊子販売収入 3800部の見込み (¥1,600+税¥180=¥1,760)
事業活動収支計	21,228,796	20,648,000	-580,796	
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,096,764	12,489,844	-1,606,920	
教育講演料	66,822	100,000	33,178	学術大会、定時総会、地区部会セミナー講師謝礼及び交通費
教育普及活動	5,820,039	5,540,000	-280,039	模擬試験問題作成費、印刷、配送料模試作成料、校正料、教育用動画制作
臨地実習指導者講習	1,840,828	949,844		臨地実習指導者講習会運営経費
学術大会開催	4,793,325	4,400,000	-393,325	第18回学術大会開催
学会誌出版	1,575,750	1,500,000	-75,750	学会誌電子化編集費 16巻2号、17巻1号
管理費支出	4,663,093	5,441,730	778,637	
広告宣伝費	618,530	596,530	-22,000	Webサイト管理(月額)¥44,000×12=¥528,000、サーバー費用、ドメイン費用1年分¥68,530
印刷費	17,820	50,000	32,180	協議会名入り封筒印刷、役員名刺印刷等
租税公課	70,050	0	-70,050	法人登記変更費用
接待交際費	3,564	50,000	46,436	慶弔費、手土産など
通信費	147,202	150,000	2,798	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配便送料
会場費	50,000	50,000	0	令和6年度国試問題検討委員会施設使用料他
消耗品費	19,419	150,000	130,581	文具類、コピー用インク、事務用器材等
行事費	242,061	230,000	-12,061	各種委員会委員日当、理事長選挙電子投票システム利用経費
旅費交通費	134,227	150,000	15,773	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	145,200	145,200	0	Zoom年間契約料
顕彰費	83,245	150,000	66,755	永年精励賞表彰状、送料
寄付金	0	500,000	500,000	能登半島地震災学金
事務局運営管理費	2,567,975	2,600,000	32,025	事務局人件費(アルバイト2名×12か月)、事務局賃料等
雑費	493,800	550,000	56,200	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング手数料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	18,759,857	17,931,574	-828,283	
事業活動収支差額	2,468,939	2,716,426	247,487	
II. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
出資金収入	0		0	
受取利息	433	433	0	
財務活動収入計	433	433	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0		0	
財務活動収支差額	433	433	0	
III. 予備費支出				
当期収支差額	2,469,372	2,716,859	247,487	
前期繰越金	27,567,298	30,036,670	2,469,372	
次期繰越金	30,036,670	32,753,529	2,716,859	

## 令和6年度 予算計算書(案2)

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位 円)

勘定科目	R5年度決算額	R6年度予算額	差引	備考
<b>I. 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
一般会費収入	7,170,000	7,410,000	240,000	会員校103社、賛助会員2社
雑収入	1,472,546	1,750,000	277,454	印税、看護協会Will手数料、日本臨床検査同学院義援金 他
学術学会関連収入	5,070,200	4,800,000	-270,200	参加費、寄付金、広告掲載料、学会準備金返金分
模擬試験関連収入	7,516,050	7,524,000	7,950	模擬試験問題冊子販売収入 3800部の見込み (¥1,800+税¥180=¥1,980)
事業活動収支計	21,228,796	21,484,000	255,204	
<b>2. 事業活動支出</b>				
事業費支出	14,096,764	13,149,844	-946,920	
教育講演料	66,822	100,000	33,178	学術大会、定時総会、地区部会セミナー講師謝礼及び交通費
教育普及活動	5,820,039	6,200,000	379,961	模擬試験問題作成費、印刷、配送料模試作成料、校正料、教育用動画制作
臨地実習指導者講習	1,840,828	949,844		臨地実習指導者講習会運営経費
学術大会開催	4,793,325	4,400,000	-393,325	第18回学術大会開催
学会誌出版	1,575,750	1,500,000	-75,750	学会誌電子化編集費 16巻2号、17巻1号
管理費支出	4,663,093	5,441,730	778,637	
広告宣伝費	618,530	596,530	-22,000	Webサイト管理(月額)¥44,000×12=¥528,000、サーバー費用、ドメイン費用1年分¥68,530
印刷費	17,820	50,000	32,180	協議会名入り封筒印刷、役員名刺印刷等
租税公課	70,050	0	-70,050	法人登記変更費用
接待交際費	3,564	50,000	46,436	慶弔費、手土産など
通信費	147,202	150,000	2,798	協議会用携帯電話使用料、インターネット使用料、郵便切手、宅配便送料
会場費	50,000	50,000	0	令和6年度国試問題検討委員会施設使用料他
消耗品費	19,419	150,000	130,581	文具類、コピー用インク、事務用器材等
行事費	242,061	230,000	-12,061	各種委員会委員日当、理事長選挙電子投票システム利用経費
旅費交通費	134,227	150,000	15,773	理事、委員の交通費・宿泊費
会議費	145,200	145,200	0	Zoom年間契約料
顕彰費	83,245	150,000	66,755	永年精励賞表彰状、送料
寄付金	0	500,000	500,000	能登半島地震奨学金
事務局運営管理費	2,567,975	2,600,000	32,025	事務局人件費(アルバイト2名×12か月)、事務局賃料等
雑費	493,800	550,000	56,200	税理士顧問料、振込手数料、ネットバンキング手数料
法人税等	70,000	70,000	0	東京都法人住民税均等割
事業活動支出計	18,759,857	18,591,574	-168,283	
事業活動収支差額	2,468,939	2,892,426	423,487	
<b>II. 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入</b>				
出資金収入	0		0	
受取利息	433	433	0	
財務活動収入計	433	433	0	
<b>2. 財務活動支出</b>				
財務活動支出計	0		0	
財務活動収支差額	433	433	0	
<b>III. 予備費支出</b>				
当期収支差額	2,469,372	2,892,859	423,487	
前期繰越金	27,567,298	30,036,670	2,469,372	
次期繰越金	30,036,670	32,929,529	2,892,859	

## 第六号議案 新規加盟

令和6年度からの新規加盟の正会員および賛助会員、校名変更につき坂本理事長より申請書類と共に説明があり、審議の結果、承認された。

### 正会員

#### 厚生労働省指定校

〒892-0831 鹿児島県鹿児島市船津町4番18号  
鹿児島天文館メディカルカレッジ 臨床検査学科（定員40名）  
議決権者：学科長 田口 洋介 先生

#### 文部科学省指定校

〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9  
愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻（定員40名）  
議決権者：専攻主任 教授 秋山 秀彦 先生

#### 科目承認校

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67  
久留米大学 医学部 医療検査学科（定員74名）  
議決権者：学科長 教授 西 昭徳 先生

〒949-7241 新潟県南魚沼市黒土新田500番  
北里大学健康科学部医療検査学科（定員80名）  
議決権者：学科長 教授 小丸 圭一 先生

〒154-8568 東京都世田谷区世田谷3-11-3  
東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 臨床検査学専攻（定員32名）  
議決権者：専攻長 教授 三村 邦裕 先生

### 校名の変更

新	旧
九州医療科学大学 生命医科学部 生命医科学科	九州保健福祉大学 生命医科学部 生命医科学科

### 賛助会員

〒101-8421 東京都千代田区神田猿楽町1丁目5番15号 猿楽町SSビル  
株式会社 じほう  
連絡者：MTJ編集部 編集長 清水 康功 様

〒107-0062 東京都港区南青山3-1-31 KD南青山ビル  
株式会社 メディックメディア  
連絡者：医療系第一編集部 新井 穂奈津 様

## 第七号議案 次期カリキュラム改正等に向けた事前調査

次期カリキュラム改正等に向けた事前調査につき、坂本理事長より調査項目と具体的な調査内容について提案があり、赤字の内容にて調査を進めることを定時総会で会員校へ報告し、調査を令和6年度から開始することが承認された。

1. 指定校統一化の必要性についての検討
2. 臨地実習前における技能修得到達度評価内容の統一化に向けた基礎データ収集と課題の検討
3. 臨地実習施設のマッチング機能導入の必要性と仕組み作りについての検討
4. 新カリキュラム内容の検証(改正された内容の過不足、教育の質向上)
5. 臨地実習施設の依頼状況の把握

令和6年度以降に行う内容

厚生労働省からの課題

1. 指定校統一化の必要性についての検討
  - 教育面で質の統一化に指定校統一化が必要か、会員校から意見集約  
調査内容：指定校統一化 必要、不要、どちらとも言えない の三択 自由記述でその理由
2. 臨地実習前における技能修得到達度評価内容の統一化に向けた基礎データの収集と課題の検討
  - 科目別分科会で示した実施要項の利用状況  
調査案：科目別分科会で示した実施要項の「評価項目（A, B, C、共通）」「評価内容（〇〇ができる）」について：現状でよい、改善が必要である の二択  
自由記述：改善が必要である場合、具体的に記述
  - 技能修得到達度評価の実態・進捗を把握し、効果的な評価内容と適切な審査基準への課題  
調査案：第三者評価：学外者に評価を依頼、依頼しなかった の二択 自由記述でその理由  
自由記述：技能修得到達度評価での工夫、課題等の記述
3. 臨地実習施設のマッチング機能導入の必要性と仕組み作りについての検討
  - 新カリキュラムでの臨地実習状況の把握  
調査案：実施学年（何年生で行うか）、実施時期（何月に実施）、臨地実習期間（実際に行った日数）、実施必須行為・見学必須行為の依頼状況
4. 新カリキュラム内容の検証 本会独自で行う必要あること  
調査案：改正された内容の過不足ある場合、どの科目を増やし、どの科目を減らすか教育の質向上ができたか（期待できそうか）
5. 臨地実習施設の依頼状況の把握
  - 一人の学生が一施設ですべて完了できたか  
調査案：実施必須項目、見学必須項目を同一施設で行えた施設数、複数施設で行った場合にどの項目を他施設で行ったか、在宅医療、検査センター、健診センター等で行ったか等、施設の調査

## 第八号議案 令和7-8年度役員選考委員会

現在の役員の任期満了（令和7年3月末日）に伴い、次期役員選考のため組織運営規定第7条に基づき、役員選考委員会を立ち上げることにつき、小野川常務理事から説明があり、理事長より委員候補者が示された。審議の結果、委員候補を総会にて承認を得たのち、令和7-8年度役員選考委員会を発足することとした。

## 第九号議案 共催依頼

本会との共済シンポジウムにつき、以下の2箇所から依頼について坂本理事長から説明があり、審議の結果、共済開催が承認された。

第9回 日本薬学教育学会大会 大会長：袴田秀樹（東京薬科大学）  
共催依頼シンポジウム：多職種連携教育に関するシンポジウム  
テーマ：これからの多職種連携教育の学修プログラムと課題を共に考える」  
開催日：令和6年8月18日（日）9：30～11：30

第64回日本臨床化学会年次学術集会 集会長：山田俊幸（自治医科大学）  
共催依頼シンポジウム：学生シンポジウム  
開催日：令和6年8月31日（土）

## その他の議案

令和4年度に会員校から問合せを頂いた、一般社団法人 日本臨床検査振興協議会（以下、振興協議会）へ本会の加盟につき、令和5年度の第2-5回理事会にて審議及び、振興協議会との連絡も行い、入会による本会へのメリット、デメリット等を審議し賛助会員になる効果は大きいと理事会では考え、総会の審議事項とすることにした。

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoomでも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、14時50分に終了した

令和6年5月23日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印